

We will make a fresh step everyday.

〈にっしん〉

最新の決算ミニガイド


2011年5月



 **日新信用金庫**

〒673-0892 明石市本町2-3-20

もしもしコール イコー ニッシンバンク

 **0120-15-2489**

(受付時間 平日午前9時から午後5時まで)

FAX 078-912-4589

<http://www.nissin-shinkin.co.jp/>

ごあいさつ

東日本大震災とそれに続く福島原子力発電所事故により被災された方々、また避難生活を余儀なくされておられる方々に心よりお見舞いを申し上げます。

地元の皆様から当庫を通じて被災地に送られた義援金は、3月末現在、85万円に達しております。本当にありがとうございます。〈にっしん〉は、役職員から150万円、金庫から1,000万円、金庫関係会社・日新リースから200万円の義援金をいずれも3月30日に被災地に送らせていただきました。また4月から6月末にかけては「復興おうえん定期」を取扱いたしております。これは3年もの定期預金で、募集額の0.1%を金庫から義援金として被災地に送ろうというもので、総額200億円(義援金2,000万円)を目標にしております。皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

さて、平成23年3月期決算であります。お蔭様で皆様の暖かいご支援のもと、過去10年間では最高の11億1千万円の当期純利益を計上することができました。本当にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

この1年余り資金需要は低迷し、貸出金利は歴史的な低水準に突入してきております。〈にっしん〉といたしましても資金需要に目をこらして参りましたが、昨年の晩秋頃から極めてかすかながら反転の兆しが見え始めたところに、この3月11日の突然の大震災であります。大きな衝撃が日本全国に広がっております。ここ数ヶ月は、地元の皆様、取引先の皆様にとりまして、誠に予断の許さない日々であり、〈にっしん〉も緊張いたしております。ひたすら事態の推移を見守りつつ、的確に、力の限り対応しなければならないと考えております。

皆様のご指導ご鞭撻を、平時にも増してお願いするところであります。

平成23年5月

この1年、〈にっしん〉は便利になりました

ATM

- 「キャンペーン定期預金」をATMで作ることができるようになりました(H22.11)。
- 「預入れ」、「硬貨入出金」、「現金振込み」を平日は午前8時からATMで受け付けるようになりました(H22.08)。
- 他信用金庫のキャッシュカードによる「その信金への預入れ」が、〈にっしん〉ATMでは土曜日、日曜日、祝日、12月31日も可能になりました(H22.08)。
- 現金振込みは「10万円が上限」であることを、振込み操作の最初の画面で表示することとしました(H22.07)。

インターネットバンキング

平日については朝8時から取引ができるようになりました(H22.10)。

ホームページ

全面的に刷新し、見やすくしました(H22.04)。

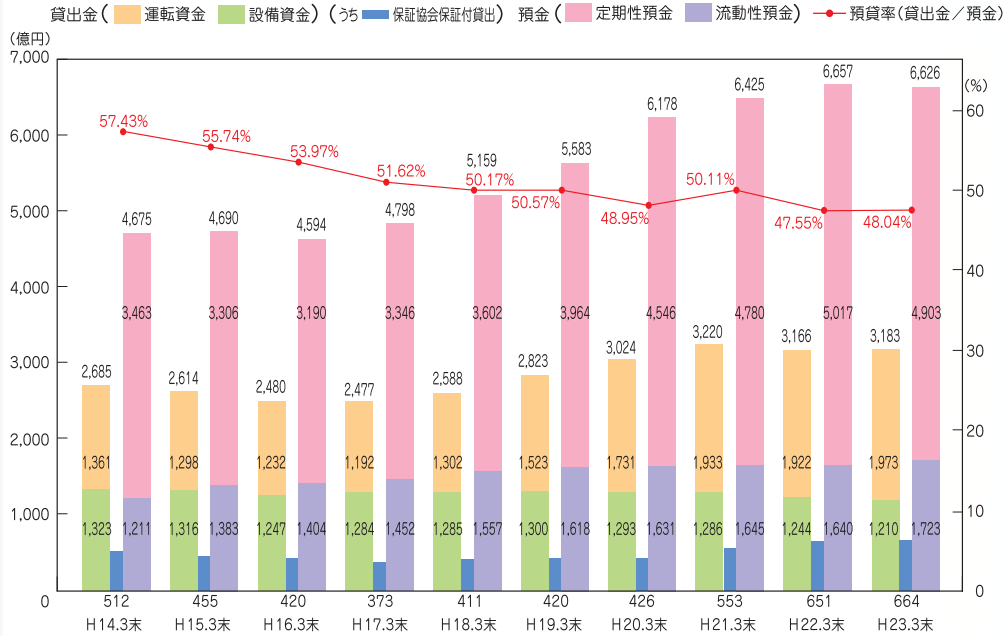
店舗

- 明石駅前支店を新築移転しました(H23.05)。
- 魚住支店にATMを増設しました(H22.10)。
- 営業店に点字ブロックを順次整備しています。

その他

金融ADR(裁判外の紛争処理)制度を導入しました(H22.10)。詳しい内容は、ホームページや店頭パンフレットでご案内しております。

〈貸出金と預金〉



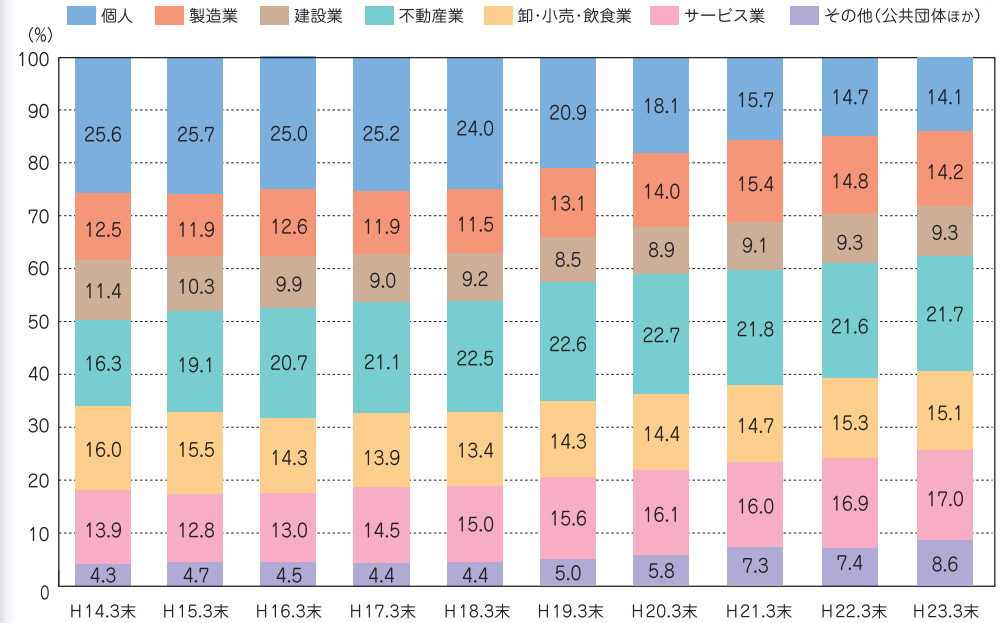
ここ10年間の預金および貸出金の推移を見ますと、預金は平成15年度に、また貸出金も平成16年度にそれぞれ底を打ち、その後は大変好調な伸びを示しました。しかし、預金は平成22年度にわずかではあります減少に転じ、また貸出金は平成21年度に減少に転じたのち平成22年度は何とか微増を達成しております。

これには次のような背景があります。平成20年秋のリーマンショック後、取引先の資金需要が低迷し平成21年度の貸出金は減少しました。その貸出金の減少を受けて平成22年度は預金の増加を抑え気味にしつつ、貸出金の増強に一層注力してきたところであります。

この結果、平成23年3月末の預金残高は、全国271信用金庫中第48位、兵庫県下11信用金庫中第4位となっております。

平成23年度は、東日本大震災の影響が予断を許さない中、資金需要のありかを目を凝らしつつ皆様にご満足のいただける良質な資金を提供することに全力を挙げてまいります。預金は、貸出金の推移を見つつ、おだやかな伸びをめざしています。

〈貸出金の業種別構成〉



貸出金がどのような業種で使われているかを示したグラフです。この間の社会経済情勢の変化を反映し、この10年間で大きく変化しています。

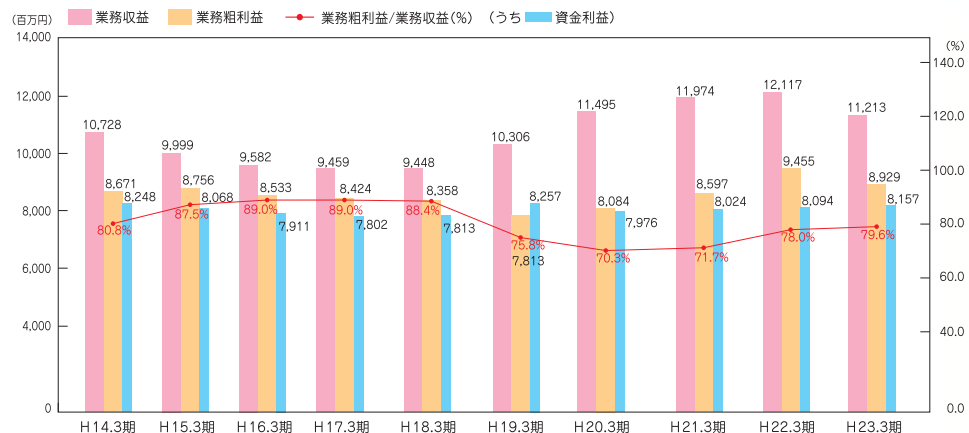
個人向け貸出金(住宅ローンと考えてください)は、平成18年度～20年度に構成比を大幅に落としております。この時期は貸出金全体が事業資金を中心に好調に伸びた時期であり、このことが住宅ローンの構成比を落とす一因となりましたが、同時に住宅ローンが額においても減少したのは事実です。昨春以来、住宅ローンに対する営業体制の立て直しを図っていますが、反転増加への契機はまだつかめておりません。

製造業は、構成比を次第に高めてきましたが、平成20年秋のリーマンショック後、やや構成比を落としております。建設業、不動産業、および卸・小売・飲食業はここ数年大きな変化はありません。

サービス業は、この10年ほぼ一貫して構成比を上げてきていますが、原動力となっているのは医療・介護分野です。

近年、その他が、構成比を上げています。これは地方公共団体向け貸出金の増加(H23.3末期 構成比3.5%)によるものです。

〈 業務収益、業務粗利益(うち資金利益) 〉



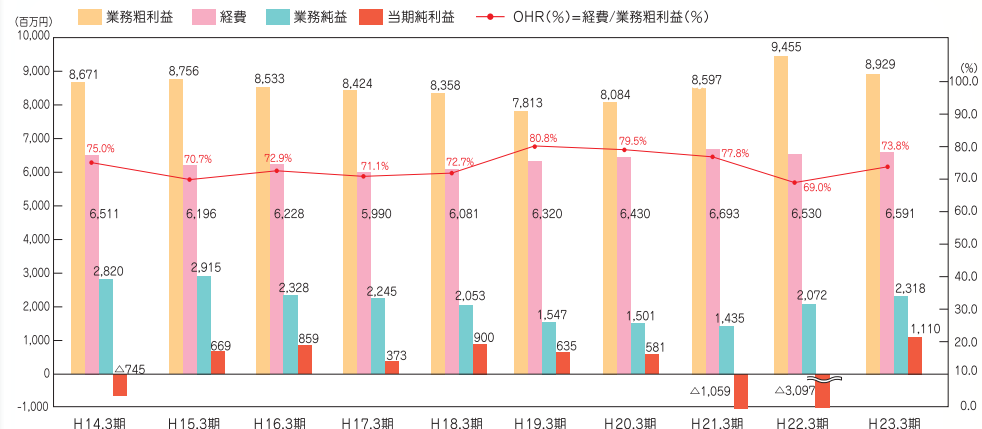
一般企業の売上に当たる業務収益は、平成21年度をピークに22年度は大きく減少しています。これは金利の低下と貸出金の不振によるものです。

業務収益から預金支払利息等を差し引いた業務粗利益も22年度は21年度を下回りました。しかし、ここ10年では高い水準であり、業務粗利益率もわずかながら改善しています。

また、業務粗利益のうち、預貸を中心とした伝統的な銀行業務から発生する粗利益(資金利益)は21年度に比べてわずかながら増加しております。

〈 業務粗利益、経費、業務純益、当期利益、OHR 〉

[参考] 業務粗利益 - (経費 + 一般貸倒繰入額) = 業務純益



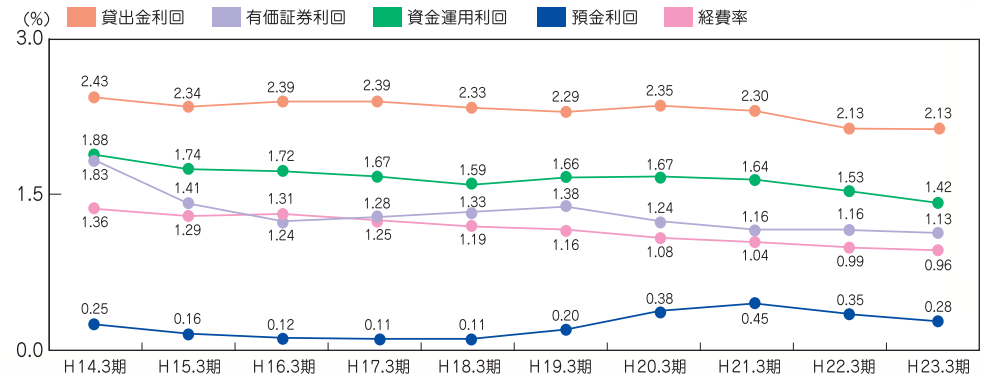
業務粗利益はここ10年間のピークであった平成21年度には及ばないものの高い水準を維持することができました。

経費の圧縮には成功したとは言えませんが、グラフに表示されていない一般貸倒引当金繰入額が少なかったことから、業務純益は過去7年間で最高となりました。

以上の結果、当期純利益は過去10年間で最高の11億1千万円を計上することができました。平成20年度及び21年度は連続赤字でご迷惑とご心配をおかけいたしました。皆様の暖かいご支援のもと、平成22年度は順調な決算を行うことができました。

心より感謝申し上げます。

〈 貸出金利回、有価証券利回、資金運用利回、預金利回、経費率 〉



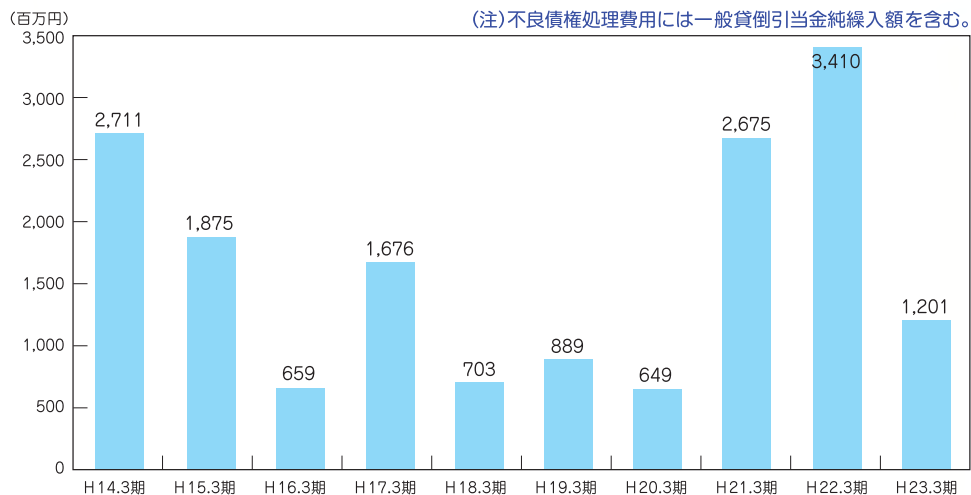
平成23年3月期の各種利回りを右のグラフをご覧ください。

貸出金利回りは何とか前年並みを維持できましたが、有価証券利回りは低下しました。全体の資金運用利回りは、2年連続の大幅低下で1.42%まで下がりました。

他方、預金利回りも2年連続で低下しましたが、資金運用利回りほどには低下していません。

この結果利鞘は減少していますが、経費率(経費/預金平均残高)を0.96%にまで更に引下げることができました。この経費率の低さは信用金庫業界の中で屈指のものであります。

〈不良債権処理費用〉

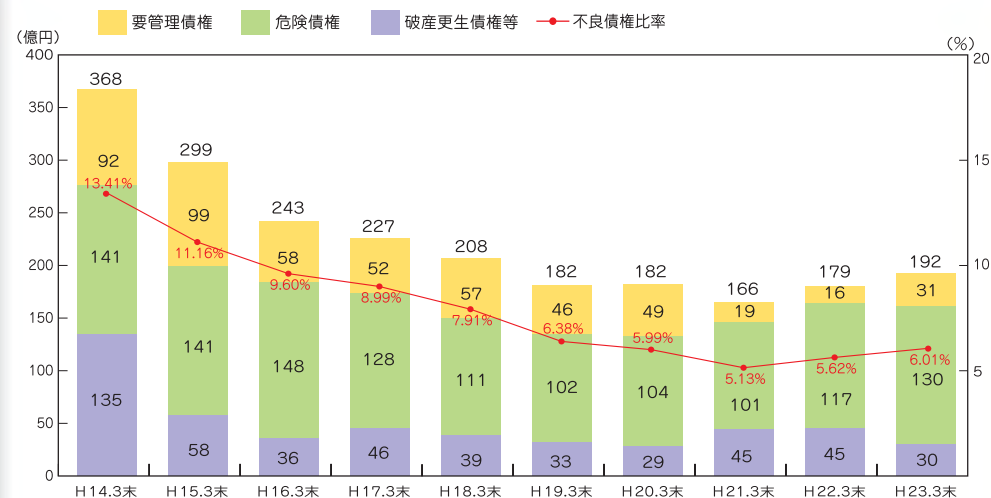


不良債権処理費用とは、その年度における債権償却額や貸倒引当金繰入額等の合計です。不良債権の多くは、担保処分や清算等の処理を待たずに前倒して会計処理(税法上は有税処理)をしています。

ご覧のように平成20年度と21年度は不良債権処理費用が多額に上りました。このため、不良債権の回収をできる限りおし進め金庫のロスを少なくすると共に、新たな不良債権の発生を防ぐために融資審査、資金管理、融資先管理の強化に全力を挙げてまいりました。

お蔭様で平成22年度は不良債権処理費用を大幅に抑えることができました。しかし、その水準は依然高いので、引続き全力を挙げてまいります。

〈不良債権(金融再生法開示債権)、不良債権比率〉



不良債権の額、及びそれが貸出金総額に占める率は、ともに平成21年3月末を底に2年連続で上昇しています。これはがっかりするニュースで、融資先の経営悪化を防止することが大きな課題になっています。

不良債権の内訳を見ますと、破産更生債権等は処理が進み過去10年間でも低い水準になっています。問題は、要管理債権及び危険債権が増加していることです。

融資先の経営悪化を防ぎつつ、さらには経営改善を手助けできるよう、平成23年4月に新たな態勢整備を図りました。

右のグラフをご覧ください。

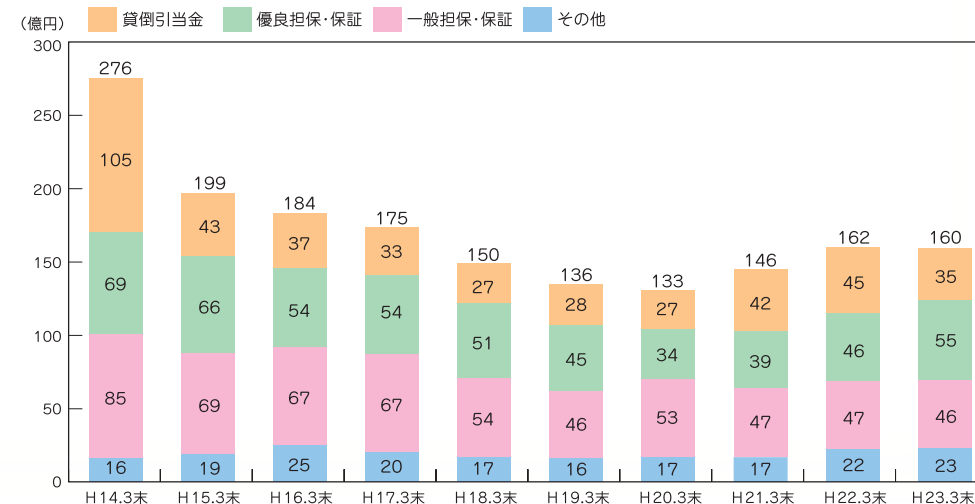
平成23年3月末現在の不良債権(要管理債権を除く。)160億円に対して、

- ① 個別貸倒引当金(注)を35億円積んでいますから、35億円は会計上すでに損失処理済です。
- ② 優良担保・保証(例えば保証協会保証)で保全されている55億円、及び一般担保(例えば土地)・保証で保全されている46億円、合わせて101億円は、担保処分等により回収できると見込んでいます。
- ③ 残りの23億円は保全されていませんが、過去の債権回収実績から見て回収できると見込んでいます。

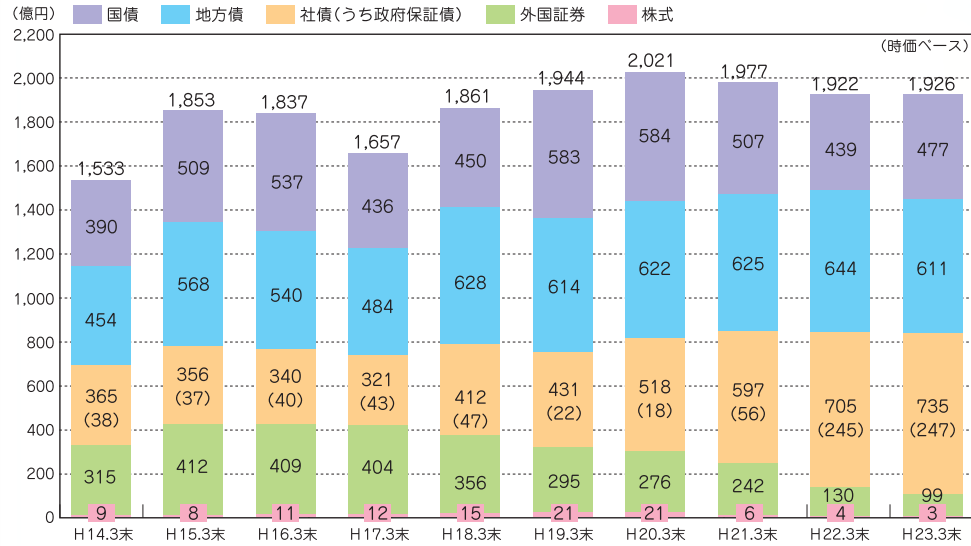
(注)不良債権(要管理債権を除く。)については、個々の債権ごとに貸倒引当金を計算して計上することになっています。これが個別貸倒引当金です。

これに対して、正常債権及び要管理債権については、債権全体に対して一定の率(その信用金庫の過去の貸倒実績から算定します。)を乗じた額を、一般貸倒引当金として計上することになっています。

〈不良債権(要管理債権を除く)の保全状況〉

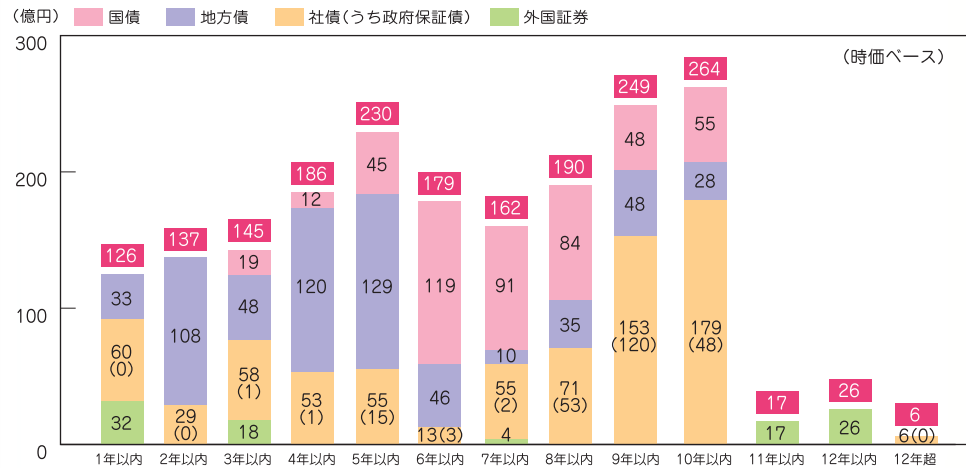


〈有価証券(3月末残ベース)〉



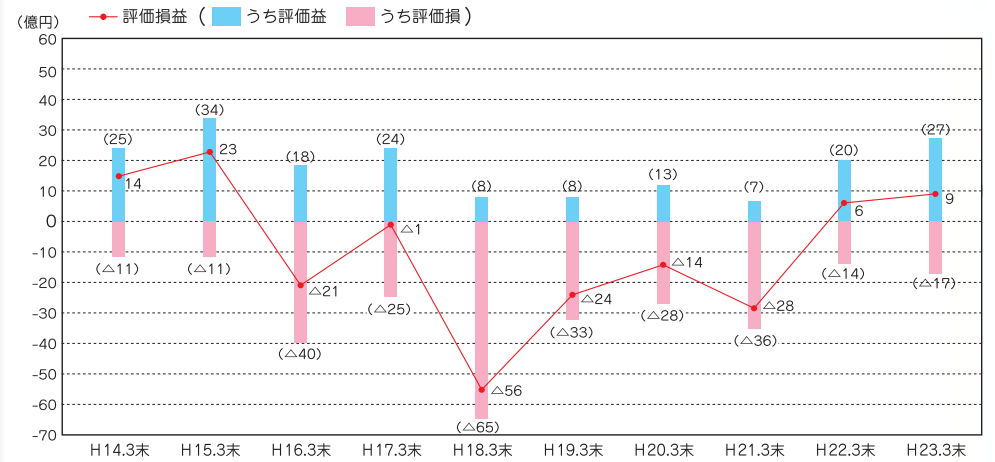
有価証券の保有状況を3月末残高で示したグラフです。
有価証券の保有総額はここ数年おおむね1,900億円台で推移しています。
内訳を見ますと、平成22年3月末以来、地方債よりも社債の保有額が上回っています。これは社債の中で政府保証債を増やしたためです。外国証券の保有は減らしています。また株式はほとんど保有していません。
リスクの高い有価証券への投資は避けています。

〈債券(償還までの期間別に見た残高、3月末残ベース)〉



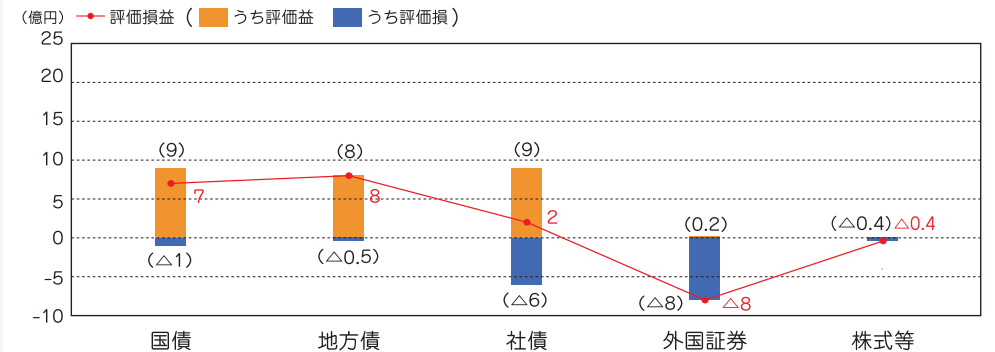
有価証券のうち株式を除いた債券について、その償還までの期間別に見た保有状況です。
10年を超える長期投資はリスクが高いと考え、ここ数年新規には行っていません。
なお、12年超のところに6億円の社債が計上されていますが、この社債は平成27年度にコールにより償還されると見込んでいます。

〈有価証券の評価損益(3月末ベース)の推移〉



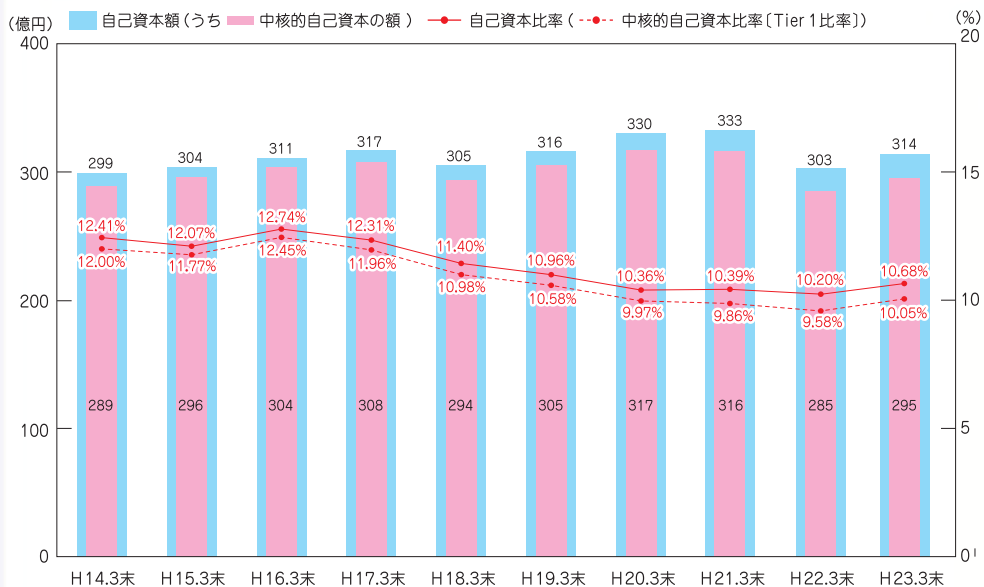
平成23年3月末現在、評価益の出ている有価証券(市場価格が簿価を上回っているもの)の合計評価益は27億円(これは過去10年間でかなり高い水準です)、評価損の出ている有価証券の合計評価損は17億円、差引合計して有価証券全体で9億円の評価益が出ています。2年連続の評価益計上となりました。

〈有価証券の種類別評価損益(3月末ベース)〉



有価証券の種類別に、平成23年3月末の評価損益を示したグラフです。
国債及び地方債については評価益が出ており評価損はほとんど出ていません。社債は評価損も出ていますが、全体としては評価益が出ています。外国証券は大きく評価損が出ているので市況の回復を待って処分したいと機を伺っています。

〈自己資本と自己資本比率(信用金庫単体)〉



	H14.3末	H15.3末	H16.3末	H17.3末	H18.3末	H19.3末	H20.3末	H21.3末	H22.3末	H23.3末
繰延税金資産	15	19	22	18	32	28	23	26	3	1

	H14.3末	H15.3末	H16.3末	H17.3末	H18.3末	H19.3末	H20.3末	H21.3末	H22.3末	H23.3末
リスクアセット	2,408	2,519	2,444	2,573	2,676	2,883	3,185	3,210	2,976	2,941
(参考)貸出金	2,685	2,614	2,480	2,477	2,588	2,823	3,024	3,220	3,166	3,183

平成23年3月末の自己資本の額は、関係会社を加味しない信用金庫単体ベースで、314億円です。自己資本の額に含まれている繰延税金資産は1億円で小額で、また自己資本の94%は基本的項目(中核的自己資本とされるもの)からなっています。自己資本の額はここ10年、おおむね300億円強で上下しつつ伸び悩んでいます。これは利益の積上げができていないためです。

自己資本比率は、「自己資本の額÷リスクアセット(%)」です。リスクアセットは、預金の増加による運用資産の増加、とりわけ貸出金の増加に伴って増加します。要するに業容の拡大はリスクアセットの増加につながります。

当庫は、業容の急激な拡大に利益の積上げが追いつかないため、自己資本比率がゆるやかに低下してきましたが、幸い平成23年3月末は上昇に転じました。

いずれにしろ、自己資本比率は10.68%(中核的自己資本比率[Tier 1比率]は10.05%)を確保しており、十分な水準にあると考えています。

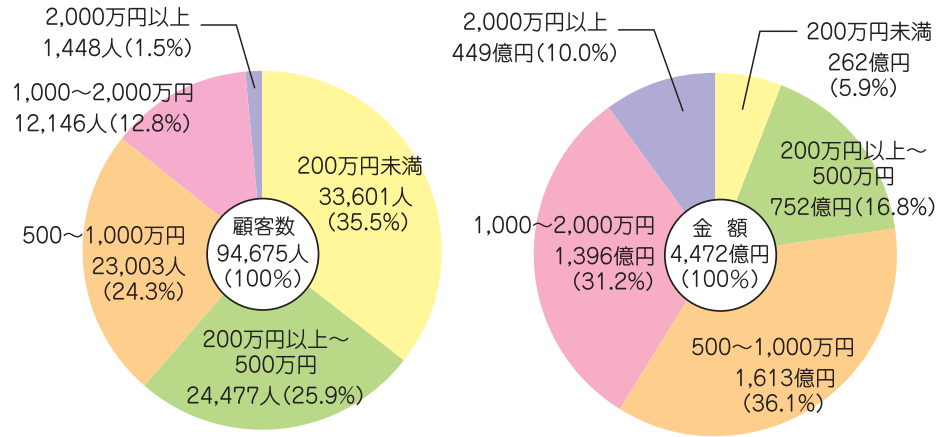
10年の歩み

- 平成14年 5月 神栄信用金庫の事業譲渡を受け、神栄支店開設
- 11月 生命保険窓販開始
- 平成15年 3月 個人向け国債の取扱開始
- 平成16年 1月 インターネットバンキング取扱開始
- 11月 玉津支店新築移転
- 平成17年 3月~8月 30周年謝恩定期取扱(大好評)
- 5月 大久保支店改装
- 6月 本店駐車場拡張
 - ◇ 預金残高5,000億円達成
- 8月 預金量県下信用金庫中第5位となる
- 9月 融資商品「スターと☆」取扱開始(話題を呼ぶ)
- 12月 3年間使用のないキャッシュカードの無効化開始
- 平成18年 3月 「タコちゃん定期」取扱開始(人気のキャラクター登場)
 - ◇ 本店大会議室ほか改装
- 5月 兵庫支店新築移転
- 7月 積立定期預金「タコちゃん大きなあれ」取扱開始(ロングセラー)
- 12月 当庫キャッシュカードによる当庫ATM利用手数料を完全無料化
- 平成19年 2月 推測されやすい暗証番号一掃キャンペーン開始
- 3月 融資商品「低利一直線」取扱開始(一直線シリーズの始まり)
- 7月 土曜預金営業を初めて実施
 - ◇ 他金融機関のATMを利用した場合の手数料の還元開始
- 11月 本部に事務指導部を新設
- 12月 三木支店新築移転
 - ◇ 貸出金3,000億円を突破
 - ◇ 預金量県下信用金庫中第4位となる
- 平成20年 3月 平成19年度における預金増加率(10.9%)全国信金第1位
貸出金増加率(7.1%)同第5位
- 6月 クールビズを初めて導入
- 11月 預金量6,500億円達成
- 平成21年 1月 ATM営業時間を全店統一(平日8:00~19:00)
- 6月 本部事務センターをシステム部に改組
- 12月 預貸金合計1兆円を突破
- 平成22年 1月 自営オンライン30年
- 5月 住宅ローンセンター開設
- 平成23年 2月 創業90周年
- 4月 「復興おうえん定期」取扱開始
- 5月 明石駅前支店新築移転

預金者のプロフィール

〈個人定期預金の残高階層別に見た顧客数と預金額〉

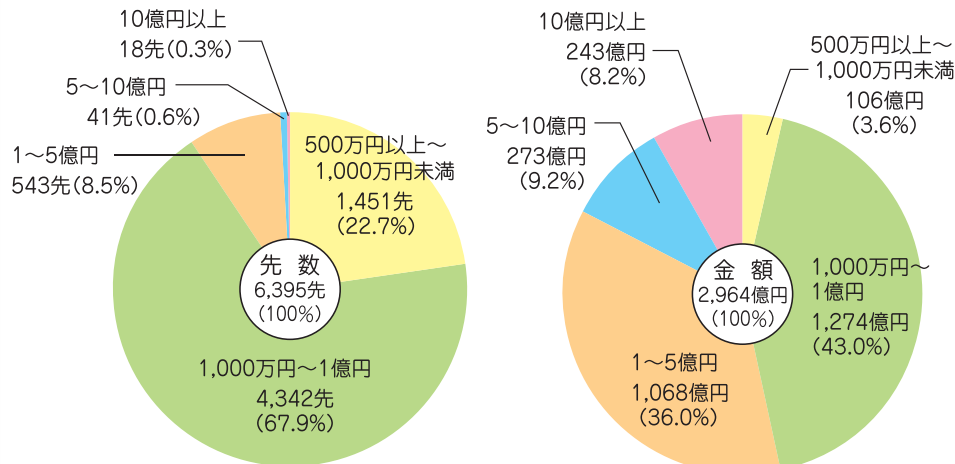
(平成23年3月31日現在)



貸出先のプロフィール

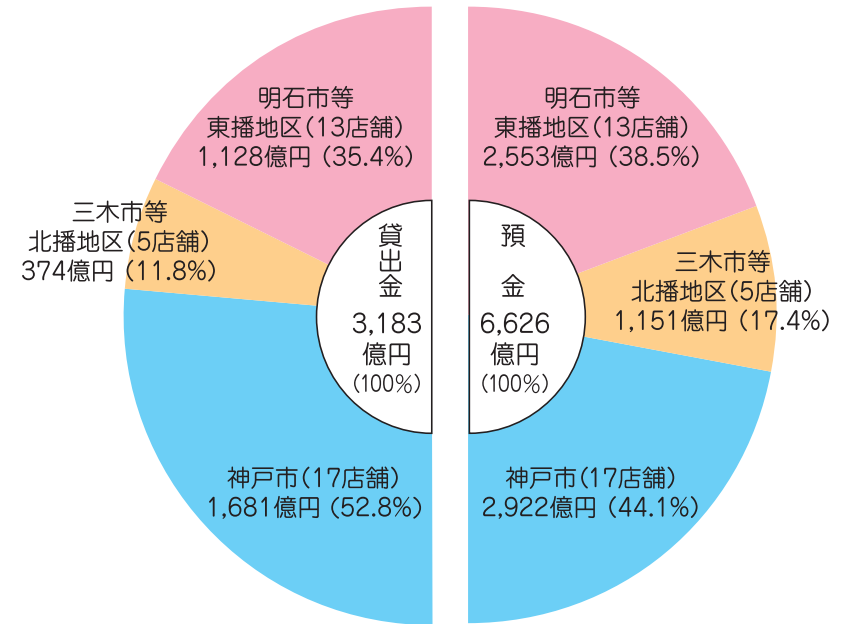
〈貸出金の残高階層別に見た先数と金額〉 残高500万円以上の貸出先を対象に作成しています。

(平成23年3月31日現在)



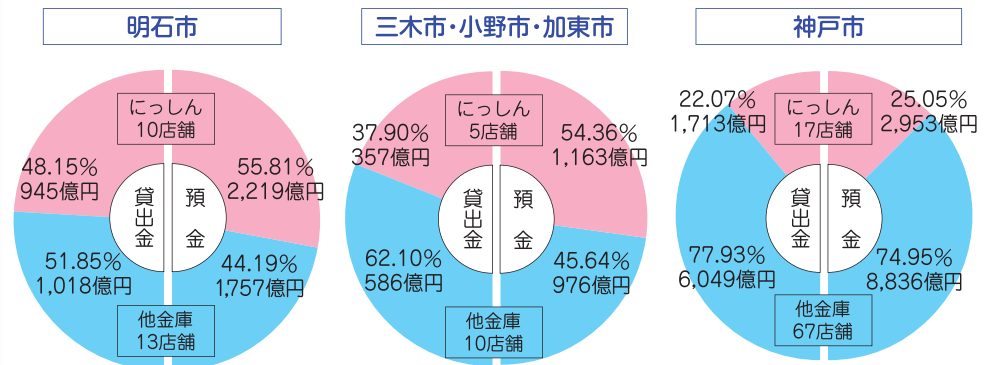
〈貸出金・預金の地域別構成〉

(平成23年3月31日現在)



〈信用金庫の中での〈にっしん〉のシェア〉

(平成22年9月30日現在)



店舗一覧

明石市中央部

本店営業部	明石市本町2-3-20	078(912)4567
明石駅前支店	明石市桜町11-14	078(911)8181
人丸支店	明石市大蔵天神町4-7	078(912)0337
林崎支店	明石市林崎町1-4-20	078(922)7431

明石市西部

西明石支店	明石市西明石南町2-14-7	078(923)1101
市場支店	明石市藤江2029-1	078(921)3020
大久保支店	明石市大久保町駅前2-1-7	078(936)2165
江井ヶ島支店	明石市大久保町江井島739-3	078(946)0623
魚住支店	明石市魚住町錦が丘1-12-1	078(947)6799
二見支店	明石市二見町東二見887-1	078(942)1221

加古川市・高砂市・播磨町

加古川支店	加古川市加古川町寺家町311-3	079(422)6066
宝殿支店	高砂市神爪1-10-2	079(432)8711
本荘支店	加古郡播磨町南野添1-2-1	079(435)3270

三木市・小野市・加東市

三木支店	三木市大村63-9	0794(82)5211
緑が丘支店	三木市緑が丘町東2-9-1	0794(84)1231
小野支店	小野市上本町237-2	0794(63)1135
天神支店	加東市天神492	0795(47)1011
滝野支店	加東市上滝野2413	0795(48)2010

神戸市東部

本山支店	神戸市東灘区田中町3-3-3	078(431)1061
魚崎支店	神戸市東灘区魚崎南町7-7-6	078(411)3281
六甲支店	神戸市灘区桜口町3-1-1-107	078(841)0141
西灘支店	神戸市灘区岸地通4-4-15	078(802)1431

神戸市中央部

神戸支店	神戸市中央区小野柄通5-1-16	078(231)2731
神栄支店	神戸市中央区下山手通3-1-13	078(391)0222
宇治川支店	神戸市中央区北長狭通7-3-5	078(341)4502
兵庫支店	神戸市兵庫区浜崎通3-22	078(671)3443
平野支店	神戸市兵庫区上祇園町4-4	078(361)0411
板宿支店	神戸市須磨区前池町3-4-1	078(735)6001

神戸市北部

鈴蘭台支店	神戸市北区鈴蘭台北町1-9-20	078(591)1221
ひよどり台支店	神戸市北区ひよどり台2-1-2	078(743)1621
藤原台支店	神戸市北区有野中町1-9-14	078(982)2489

神戸市西部

垂水支店	神戸市垂水区神田町3-10	078(706)2222
舞子支店	神戸市垂水区西舞子2-14-21	078(784)8171
伊川谷支店	神戸市西区池上2-21-8	078(975)0571
玉津支店	神戸市西区王塚台7-96-1	078(928)6110